

総務建設経済常任委員会会議記録

1. 期 日 令和6年2月21日(水) 開会午後15時00分
閉会午後15時46分
2. 場 所 第1委員会室
3. 付議事件
- ・新庁舎整備に求められる機能について
 - ・地域公共交通のあり方について
4. 出席者 小笠原委員長、渡辺副委員長、羽根委員、小林委員、浜井委員、善波委員、大沼委員、根岸議長
傍聴議員 0名
一般傍聴者 0名
議会事務局 2名 事務局長、庶務課長
5. 経 過

新庁舎整備に求められる機能について 地域公共交通のあり方について

委員長

今日は委員全員出席しているが、残念ながら傍聴議員や傍聴の方はいない。12月議会終了後、総務建設経済常任委員会としては2つの調査研究テーマをもって活動してきている。1つは新庁舎整備に求められる機能について、もう1つは地域公共交通のあり方についてである。地域公共交通のあり方について2月14日に調査研究の時にも確認したが、12月16日に下町憩の家で下町地区の住民を対象に意見交換会をした。それについては議長にもご協力をいただき、8名で実施し、町民6名が参加した。2グループに分けてたくさん意見をいただいた。いただいた意見については前回の調査研究会で箇条書きにして出した。それについて皆さまからたくさん意見をいただいた。委員長としてそれは福祉的な要素を含むものがとても多く、なかなか総務建設経済常任委員会だけでは解決できない部分もあると考えている。大きい自治体だと予算もいろいろあるので、福祉的な部分で公共交通なども充実させているようであるが、私たちが無い中で知恵を出してやっていかなければならないと考えている。総務の委員会として地域公共交通のあり方については委員長報告(案)を出しており、12月議会終了後の動きとして1月26日に町の地域公共交通協議会が実施され、委員全員でZOOMで傍聴した。この議事録は2、3日中に出るとのことだった。2月14日に調査研究会を開催して、12月16日の下町の件を十分時間を取り、意見交換した。意見交換する中で近隣自治体の事例を学ぶことが重要だということになり、今後の調査として秦野市の都市部交通住宅課が公共交通の担当で、そこをお願いをし、コミバスやデマンドタクシーの取り組みなどを視察させていただこうということで日程調整しているところである。最終的に委員会としては視察で学んだことを含めて提言につなげていきたいと考えている。新庁舎の機能についてだが、2月13日に正副委員長で新庁舎について現在までの動きを担当課長に確認した。測量や地質調査などをまとめているという状況だと皆様にお伝えしたが、わが委員会

の調査テーマである新庁舎整備に求められる機能について提案するに際して町の詳細設計が出ていないとたいへん難しい状況である。委員会としては議会フロアーについての使い方を主体的に私たちでしっかり提案していかなければいけないことを確認しているということを委員長報告として進めていきたいと考えているが、これについて意見をいただければと思う。今までの活動として委員長報告をまとめたが、こういうところが足りないとか、付け加えるべきということを含めてご意見いただければと思う。

羽根 訂正になるのか分からないが報告の①ZOOMで傍聴とあるが、正副議長は研修でいなかったのだから委員全員というの嘘になってしまうので全員ではなかったというように改められたい。

委員長 失礼した。訂正する。他にあるか。

副委員長 今度の秦野市の視察だが、向うの状況がよく分からないので都市部交通住宅課というところ限定してよいのかと先ほど開会前にしていた。秦野市でよいのかもしれない。向こうは部署横断的に進めているようだ。いずれにしても福祉的な観点というのになると、うちの方もなかなか難しい。

委員長 各課横断的にやっているということで、そこを窓口として都市部交通住宅課に今回話を聞かせていただくつもりだが、秦野市の福祉を含めた取組を学んでいくということで、そのように文章を訂正させていただく。今日、神奈川新聞に秦野市の地域公共交通に関する市民の動きとして3団体が集まって意見交換したとのことだった。そこは福祉系の管轄で、私たち総務建設経済常任委員会で地域公共交通のあり方について提案していく難しさがあるが、いろいろな部分で表裏一体みたいなどころがあるが、学べることは学んで、わが議会としても両委員会で進められるものがあれば進めていくとよいのではないかとと思う。行政に縦割りがよくないといいながら、私たちの委員会があまりにも縦割りなのはいかなものか考えている。

大沼 さまざまな交通補助の方法があるし、ご意見もさまざま出ているところではあるが、我々議会、委員会という立場から考えた時に、民間の力をどこまで頼りにするのかという不確実なところに対して、こちらから何かものを進めていくのはあまり適当ではないのかと。委員会の中でまとめていく方向としては実効性のある計画に向けて調査研究、意見をまとめていくべきかと考えている。

委員長 今の大沼委員の意見について何かあるか。よろしいか。同調するとか。そうだなとか。いかがか。

善波 今の話にあったように公共交通のあり方というのは、元々の案は、この間の下町の意見交換でもあったように医療関係に行く不便さや買い物で、そういうことになると近隣市町を確認してみると、秦野市はそういう人たちの困っていることを市では高齢福祉課がまとめているらしい。委員長はいろいろやってくれてありがたいが、そういうところに絞り、よその先進事例を確認して、どういう形でやったら、それが二宮町でできるのか勉強したいと思う。

委員長

今日資料で出していないが、これから秦野に視察に行くというところで今日記事になっているところを皆さんに出してなくて情報の共有化はできないが、市民の力、助け合いで車を手配し、組織をワーカーズ形式で共同出資、共同経営みたいな形でやっている団体の代表が今日の新聞に名前が出ていた。その方は有名な方で、一色小学校区地域再生協議会の勉強会にお呼びしたことがある。何度学んでもよいので機会があればその方にも教えていただきながら進めていくことが大切なのかと考えている。

大沼

公共交通の問題というのは、範囲とか規定がそれぞれ違うだろうし、それぞれの事情も違ってくると思う。そう考えた時に町民の方が困っているということで、民間の方々がどうにかしなければいけないと考えていくのが方法の中の一つだと思う。我々議会議員がまた違う視野で物事を考えて、問題解決に向けて意見をしていく。問題自体は町行政で感じているところで、町行政側の方ではそれとして検討していくのだろうと。3方向から問題解決に向けて力が合わさっていくのが非常に大事だと思っている。その中で我々議会として政策に反映させていく方法を考えなければならないと思っているところである。中井町のデマンドバスの実態の話を伺ったが、経費、実情も運用が難しいのかと。類似の隣の町のことなので、そんなに状況が変わらないだろうと思ったところである。塩尻の自動運転バスがあり、これは先端事例ということで国とかの補助があるからやっている。実用されるまでには、もう少し時間がかかるということも皆さん感じたところである。解決方法の1つとして上がってきているが、二宮町だとタクシーの利用、補助を手始めに進めていのが簡単である。12月16日の下町の方々の意見を伺っている中で、皆さん共通して困っていると感じたのが買い物をした後の帰りの上り坂があり荷物帰りが大変。行きはよいが、帰りが大変。自分で運転ができなくなるという心配。買い物、病院でも週に1回、そんなに頻繁になくてもよいという意見もあった。ここら辺のことをまとめて自分なりの意見として考えたのは、地区ごとに曜日だったり、日だったりということで専属の交通補助、小型のマイクロバスみたいなものが頻繁に地域の中を走り回るといことでお手伝いをしていくというのが今のところ自分の中で1番実効性があるかと感じている。

委員長

今の大沼委員が地域の方の声を聞き、その対策として独自の車を回していくのが一つの解決策ではないかという話だった。この議事録を見た時に急に塩尻のバスの話が出てしまっている。議会のOBである議友会で先月視察に行った時の話をしていらっしゃったことを付け加える。予算のかかる地域公共交通のあり方について、全くお金がかからない訳では無いので、一朝一夕、そう簡単には具現化は厳しいと思うが。町の少ない予算の中で、できる方法を前向きに考えていきたい。引き続き調査研究をしていければと考える。小林委員はご意見ないか。

小林

今実行されているコミュニティバスはコミュニティでそのままということなんですよね。それは決まりで、その他に先ほど言われた小型のものを使っていくという考えで、コミュニティはそのまま変わらないということで分かった。前に善波さんから話があったが、エクレールの方から話があり、担当課に話を伺った。1国沿いであちらは回ることができないとのことだった。そこが回れるとまたちょっと違うのかと思うが、なかなか経路を変えるのは非常に難しい。新たな

ものを考えるのであれば、小型のものを中学校の方は道が細いので行っていただければ助かるのかと思う。

委員長

今の小林委員のご意見は、大沼委員のやり方を研究したほうが良いということと受け止める。浜井委員は、今回一般質問をすることもあり意見を言われたい。

浜井

先ほど話が出ていたが、福祉施策と公共交通の部分がどうしてもオーバーラップし、必ず関わってくるので、私もそのへんはどう分けていったらよいのか悩みどころである。たとえば、タクシーの補助というのは、今回令和6年度の福祉の方で枠を広げて進めていこうという話が出ているようだが、対象を絞ってということだが、もう少し利用対象を広げようということで、それはそれで私たちが望んでいるような形であり、もっと困っている人たちがいっぱいいるということで言ってきたことの一部だが。タクシーの補助が委員長も一番てっとり早い話になるが。そこは福祉となると突き詰めていく。公共交通というとバス、一定の定時性のようなルートを動いてもらう。今でいう低所得者という特別な枠が無く、誰しもの使える、健常者であっても老若男女使えるというのが公共交通という意味合いになってくる。そのへんが私の中で迷っているというか、ごちゃ混ぜとなっており、難しいところである。

委員長

総務建設経済常任委員会としては限られた時間の中で、一定の提案をしていきたいというところでは厳しいが、そのバランスを取って、それは福祉だろうと言われないような形での提案をしていくことが重要かと考えている。

浜井

先ほど委員長が言われた今朝の神奈川新聞の記事を私も見た。話が出ていた柗窪の地区とか3か所の3段階でということでお互いの活動を報告し合って、よい事例を聞いてということで、不便な地域のお互いの意見を出し合って、先進的な部分で今進んでいるのだという記事を見て感じたところで私たちもちょうど話を投げかけるところで良いタイミングだったと思った。

大沼

現状、即困っている方に手を差し伸べようと考えた時には、体に不自由は無いが高齢の方々、妊婦さんとかにタクシーとかで利用ができる。言ってみれば予算を割り当てれば、実現可能な方向というのが、今手始めの中での対策だと思う。民間活用の中では民間自体がそういう意識を持って取り組んでくれないければ、これを議会でいくら決めても仕方がないことなのでそのことに期待するというか、そこに重点をかけるというのは正しい方法ではない。そういうふうと考えていくと、次の予算化した中で、どういうふうな対策が取れるのか、この委員会でまとめる必要があるので、進めていきたいというのが私の意見である。

委員長

今の日本において重要じゃないかと思うことは、大沼委員はタクシー券とおっしゃるが、現実に昼間にタクシーが走っていない、行こうと思うところに行けない声がたくさん上がっている。券を配ってもタクシーが走ってなければ意味がないし、労働問題にも関わってくる。それはそれで別だと私たちの委員会では言えないと思う。

大沼

実際にタクシードライバーに聞いた話だが、朝タクシーが少ないという問題

の一番の多くはゴルフに行く方がタクシーを利用している。次の段階として病院とかの予約が前から入っている状況があると運転手から聞いている。この部分はタクシーも公共交通の中の一役を担っているという意識を持って、町行政が神奈中ハイヤーとしっかり協議をすべきだと私は思う。

委員長

この間のNHKの放送を見ると、タクシー運転手が勤務時間中お客様を捕まえることができてなくて難しい。逆の言い方をすれば、お客様がいない部分を行政がある程度補助してあげるとか考えた方がよいとおっしゃったのか。

委員長

再開する。大沼委員のご意見の受け止め方が違っていたので、暫時休憩して確認させていただいた。大沼委員は、本当に困っている町民のための新しい施策を提案していくためには、まず実態把握で、病院に行きたくてもいけないのに乗り物に困っている方の実態把握としてデーターをしっかりとることがまず第一歩ではないかということで、その部分を期待したいという意見である。委員会としては2年間と思っても令和6年は3月議会が終わった後、9月議会まで6か月もないような形で、そういうところで町に提言していくにはいろいろ調査研究したり、いろいろな希望があつたりするが一定絞っていかねばならないのは思うところである。それについて羽根委員どうぞ。

羽根

タクシー券や民間のことなども出ており、私たちもいろいろな調査研究をしてきたと思うが、委員長がおっしゃったとおり半年ぐらしかない中で、ある程度方向性というか幅を絞っていて、そちらの方向で研究していくという形を取らないと時間的に厳しいと思うので、そのへんを含めて検討していただけたらと思う。

委員長

現実的なご意見だと思う。地域公共交通のあり方については、ある程度的に絞って提案していくために調査研究日はしっかり意見交換していきたいと思う。2の新庁舎の機能についてであるが、私が先ほど申し上げたように詳細設計が出ないという難しい中で議会フロアーについて限られた時間の中で提案していきたいと思うが、そういう状況でよろしいか。

渡辺

議会フロアーのところは我々がまとめていけると思うが、他の部分も詳細設計が来てからスタートだと今度は時間がなくなってしまう。そういう意味ではいろいろな意見をもう1回拾い直すというのを少し取り組んだらどうかと思った。基本条例推進委員会は今度シェアにのみやをやるということなので、そちらの方の活用も検討してはどうか。

委員長

先日の調査研究の時に、担当課に新庁舎の動きについて確認したところ、6月議会にまとめたものを出すというような話だった。町としても3か所あり、新庁舎だけではなく、ラディアンの改修と福祉会館について総まとめで一挙に6月に出すということだったが、それまでに1回私たちも途中経過を知りたいと伝えてあった。いつとは聞いていないが、志賀部長の方で途中経過もある程度お知らせできるようにしたいと私たちの調査研究日の翌週ぐらいに課長から話があったのでお伝えする。全協なのかどうなのか分からないがよろしくお願ひする。本日はここまでの動きの確認をした。いよいよ提案するまでの期日が限られているところで共に進めていかねばありがたいと思う。以上よろし

いか。
（「はい」との声あり）
以上で委員会を終了する。

閉会15時46分